

活動報告

● 理事会が行われました

3月23日(火)に県医師会館において、当事業団の理事会が開かれました。
令和3年度の事業計画案、予算案について協議されました。



山梨県がん患者サポートセンターからのお知らせ

がん相談 相談無料 秘密厳守 のお知らせ

あなたの“がんの悩み”を話してみませんか

当センターでは、新型コロナウイルス感染防止対策マニュアルを作成し、がん相談を実施しています。

【感染防止対策】

- 相談可能時間の短縮
13:00～16:00 → 13:00～15:00
- 現在は電話相談のみ実施
- ピア・サポーターの体調確認および検温の実施
- アルコール消毒の実施(手指・机等)
- 相談室の換気等

ピア・サポーターがYBSラジオに出演しました(2021年2月2日)
さんにちEyeにサポートセンターの記事が掲載されました(2021年3月10日)
まずはお気軽に055-227-8740(がん患者サポートセンター)にお電話ください。

ホームページ

<http://www.y-kenkou.or.jp/jigyo.html#support>



春号 すこやか 2021 (令和3年) だより

公益財団法人
山梨県健康管理事業団
Yamanashi Health Management Association
〒400-0034
甲府市宝1丁目4-16
055-225-2800(代)
<http://www.y-kenkou.or.jp/>

胸部 X 線検診車が導入されました

令和3年4月より新しい胸部 X 線検診車が稼働することになりました。
他の検診車に比べ、車体がコンパクトとなっており、巡回健診に力を発揮できます。
一方で車内は受診者様の為のスペースを広くとっており、ゆとりをもって受診していただけます。



胸部 X 線検診は肺がんの早期発見が大きな目的ですが、肺がん以外にも肺・気管支や心臓などの病気や異常を発見することができます。

部位別がん死亡数では、肺がんは男性の第1位、女性の第2位と男女ともに上位を占めています(令和元年 厚生労働省人口動態統計より)。

山梨県の肺がん検診受診率は全国平均よりも高率ですが、更なる受診率の向上を目指し、肺がんをはじめとする各種がん検診受診率60%を目標に掲げています(山梨県第三次がん対策基本計画より)。

コロナでも変わらぬ習慣がん検診

(2021年度 日本対がん協会 がん征圧スローガン)





コロナ禍における健診啓発資料の公開と事業団の健診に関する取り組みについて

平素より山梨県健康管理事業団の活動にご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。
この度の新型コロナウイルスの感染拡大の中で、健診受診の重要性を周知する普及啓発のポスターを事業団ホームページに公開しました。ぜひ掲示してご活用いただければ幸いです。



座席間隔の確保、飛沫防止パーティションの設置

私達は、マニュアル「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」に基づいて感染防止に取り組んでいます。

新型コロナウイルス 感染防止対策実施施設

施設名 公益財団法人 山梨県健康管理事業団

私たちは受診者および職員の安全確保のため下記の事項を励行します。

- マスクの着用
- 手洗い・消毒
- 体調チェック (検温など)
- 十分な換気
- 密集を避ける
- 定期的な消毒

本ポスターは、内閣官房の業種別ガイドラインにも指定されている「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」に基づいた感染対策を行う健診施設の自己申告・責任により、2020年10月～2021年3月の期間で配布するものです。対策の詳細に関しては健診施設にお問い合わせください。 <https://www.ningen-dock.jp/covid19poster/>

マニュアル「健康診断実施時における新型コロナウイルス感染症対策について」作成団体
 日本人間ドック学会・日本総合健診医学会・結核予防会・全国労働衛生団体連合会
 日本対がん協会・日本病院会・予防医学事業中央会・全日本病院協会

<http://www.y-kenkou.or.jp/topics20210302.html>



飛沫防止パーティションを使用しての採血

事業団では新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で、各種検診を実施しております。生活習慣病やがんの早期発見のために検診受診をお願いいたします。

[対策の例]

- ・ソーシャルディスタンス(座席間隔等)
- ・定期的な換気の実施
- ・使用器具等の除菌
- ・飛沫防止パーティションの活用等